

取扱説明書

ProLite

LCD Monitor

ProLite E4825

重要

ご使用になる前に必ずこの取扱説明書をお読みになり、正しく安全にお使いください。
お読みになった後は、大切に保管してください。

日本語



警告表示について

本書では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

VCCI (電波障害自主規制)

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。本書に従って正しい取り扱いをしてください。

ただし、下記のことが守られず使用された場合は、保証いたしかねますのでご注意ください。

モニタの内部およびケーブルの改造はしないこと。

電源コードは付属のものを使用すること。

ENERGY STAR®

当社はENERGY STAR®プログラムの参加事業者として、本製品がENERGY STAR®プログラムの基準に適合していると判断します。

本書の内容の一部または全部を無断転載することは固くお断りいたします。

本書の内容については将来予告なしに変更することがあります。

本書に記載した会社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。

本書は内容について万全を期して作成いたしました。万が一誤りや記載もれなどお気付きの点がありましたら販売店またはイヤマサポートセンターまでご連絡ください。

愛情点検

長年ご使用のモニタの点検を！



ご使用の際
このようなことは
ありませんか

- 電源コードを動かすと、電源がONになったりOFFになったりする。
- キャビネットが異常に熱い。
- 煙が出たり、こげくさい臭いがする。
- 使用中に異常な音や振動などがある。
- その他の異常や故障がある。



ご使用を中止してください

故障や事故防止のため、電源プラグをコンセントからはずし、必ず販売店またはイヤマサービスセンターにご連絡ください。
点検・修理に要する費用などは販売店またはイヤマサービスセンターにご相談ください。

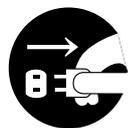
もくじ

安全にご使用いただくために	1
ご使用の前に	5
標準付属品	5
スタンドの取り付け	5
スタンドの取り外し	6
コンピュータの設定	7
パネルの角度調節	7
フロントパネルのコントロール	8
取付け	8
操作手順	9
OSD機能を使用する	9
クリーニング	17
トラブルシューティング	17
アフターサービス	18
付録	19
一般仕様	19
対応信号タイミング	20
信号入力コネクタのピン配列	21

安全にご使用いただくために

ご使用になる前に、次の注意事項をよくお読みになり必ずお守りください。

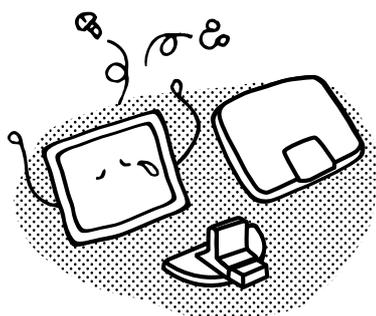
警告



プラグを
抜く

万一、異常が発生したら

煙が出る、変な臭いや音がするなどの異常が発生したときは、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店またはイーヤマサービスセンターに修理をご依頼ください。そのまま使用すると火災や感電の原因となります。

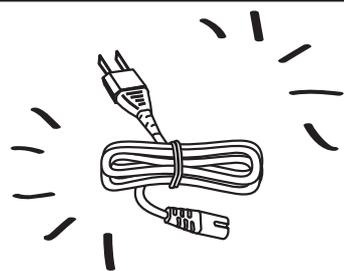


分解禁止

キャビネットは外さない、改造しない

内部には電圧の高い部分があり、キャビネットを外したり改造すると火災や感電の原因となります。

内部の点検や修理は販売店またはイーヤマサービスセンターにご依頼ください。



禁止

付属品以外の電源コードを使用しない

火災や故障の原因となります。



禁止



プラグを
抜く

異物を入れない

モニタの通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災や感電または故障の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

万一、異物が入ったときは、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店またはイーヤマサービスセンターにご連絡ください。



禁止

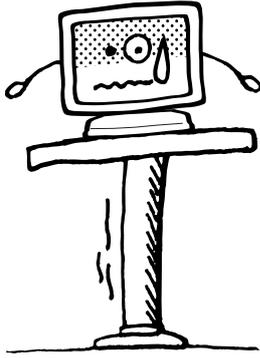


プラグを
抜く

花瓶やコップをモニタの近くに置かない

水やその他の液体、溶剤の入った容器をモニタの近くに置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災や感電または故障の原因となります。

万一、水などが入ったときは、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店またはイーヤマサービスセンターにご連絡ください。



禁止

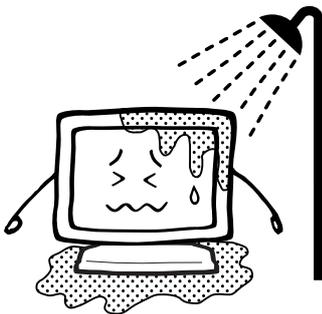
不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。



プラグを
抜く

平らで十分に強度がある安定した場所に置いてください。万一、モニタを落としたり、キャビネットを破損した場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店またはイヤマサービスセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災や感電の原因となります。



水場での
使用禁止

水のある場所で使わない

風呂場など水が入ったり、ぬれたりする場所で使用しないでください。火災や感電の原因となります。



禁止

電源コードを分解しない、傷つけない

電源コードを分解すると、火災や感電の原因となります。

電源コードの上に重いものをのせたり、モニタの下敷きにならないようにしてください。また、無理に曲げたり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災や感電の原因となります。

コードが傷んだらすぐに販売店またはイヤマサービスセンターに交換をご依頼ください。

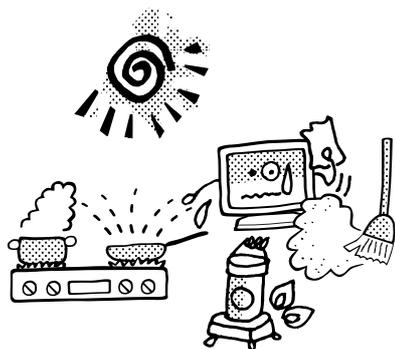


接触禁止

雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れない

感電の原因となります。

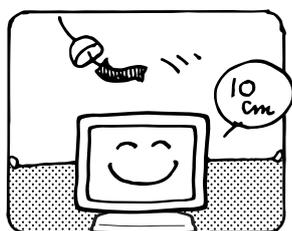
⚠ 注意



置き場所を選ぶ

次のような場所に置かないでください。火災や感電または故障の原因となることがあります。

- × 湿気やほこりの多い場所
- × 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所
- × 直射日光や照明光が直接画面にあたる場所
- × 熱器具の近く

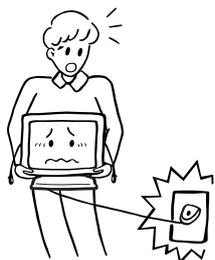


通風孔をふさがない

次のような使い方はしないでください。

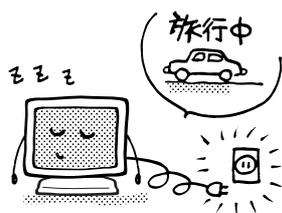
- × あお向けや横倒し、逆さまにする。
- × 押し入れ、本箱など風通しの悪いせまい所に押し込む。
- × じゅうたんや布団の上に置く。
- × テーブルクロスなどをかける。

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。風通しをよくするために、モニタは周囲から10cm以上離して置いてください。



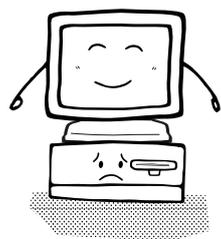
移動させるときは、外部の接続コードをはずす

電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、信号ケーブルなどの接続コードをはずしたことを確認の上、移動させてください。火災や感電の原因となることがあります。



旅行などで長期間使わないときは、電源プラグを抜く

安全のため、必ず電源プラグをコンセントから抜き、電源コードはずしてください。火災の原因となることがあります。



コンピュータの上にモニタを置くとき

必ずコンピュータの取扱説明書などで強度を確認してください。コンピュータが破損する原因となることがあります。

⚠ 注意



プラグを持って抜く

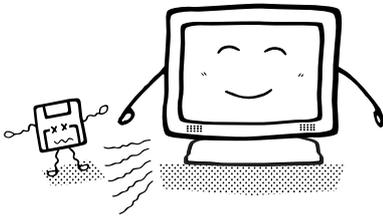
電源コードや信号ケーブルを抜くときは、コードを引っ張らないでください。コードに傷がつき、火災や感電の原因となることがあります。必ずプラグの部分を持って抜いてください。



接触禁止

ぬれた手で電源プラグにさわらないで

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。



スピーカーにフロッピーディスクを近づけない

スピーカーは磁気を発生するため、磁気記録のデータが消えてしまうことがあります。

正しくご使用いただくために

目を大切に

画面の位置は、目の高さよりやや低く、目から約40～60cmはなれたくらいが見やすく疲れません。使用する部屋は暗すぎると目が疲れます。適度の明るさの中でご使用ください。また、長時間画面を見続けると目が疲れますので、1時間に10分程度の休息をおすすめします。

故障ではありません

お使いのコンピュータによっては、画像がずれる場合があります。画面位置を正しく調整してご使用ください。

ご使用初期において、バックライトの特性上、画面にチラつきが出ることがあります。この場合、電源スイッチをいったん切り、再度スイッチを入れなおしてご確認ください。

液晶モニタは、表示する色や明るさにより微小な斑点およびむらが見えることがあります。

画面上に常時点灯、または点灯していない画素が数点ある場合があります。これは、液晶パネルの特性によるものです。

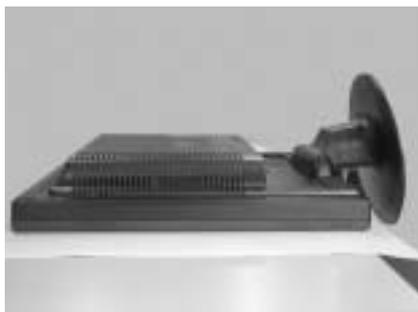
液晶パネルの特性上長時間同じ画面を表示していると、画面表示を変えたときに前の画面の残像(焼き付きのような症状)が発生する可能性があります。この場合、下記のいずれかの方法で徐々に改善されます。

- ・画面の表示パターンを変える。
- ・数時間電源を切っておく。

本製品に使用しているバックライトには寿命があります。

画面が暗くなったり、チラついたり、点灯しないときは、販売店またはイーヤマサービスセンターまでお問い合わせください。

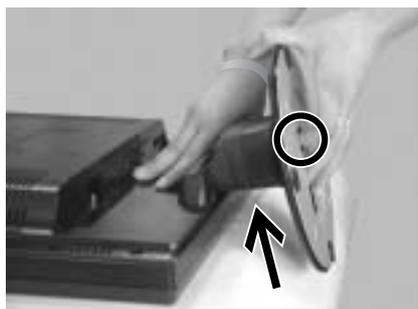
スタンドの取り外し



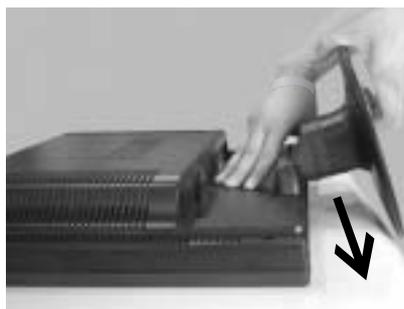
(図1)



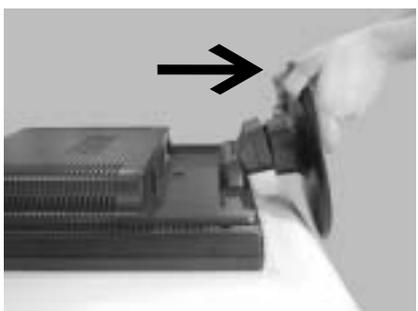
(図2)



(図3)



(図4)



(図5)

1. モニター画面が傷つかないように前もってテーブルの上に柔らかい布を敷いてください。
モニターの画面を下にし、テーブルの上に水平になるようモニターを静かに置いてください
(図1参照)。
2. スタンド裏のフック位置を確かめます(図2参照)。
3. モニターとスタンドを両手で押さえ、スタンド裏のフックを押し上げます(図3参照)。
4. 片方の手でモニターをしっかりと押さえ、もう片方の手でスタンドを下方へ滑らせます。
(図4参照)。
5. モニターとスタンドが破損しないよう、スタンドをゆっくりと手前に引きます
(図5参照)。

コンピュータの設定

信号タイミング

本製品がサポートしているお好みの解像度（P.20「対応信号タイミング」参照）に設定してください。

Windows 95/98/2000/Me/XPプラグ&プレイ対応

本製品はVESA規格のDDC1/2Bに対応しています。DDC1/2B対応のコンピュータと本製品付属の信号ケーブルで接続することにより、Windows 95/98/2000/Me/XP上でプラグ&プレイ機能が動作します。この際、Windows 95/98/2000/Me/XP モニタインフォメーションファイルのインストールが必要になる場合がありますので、弊社ホームページのダウンロードサービスをご利用ください。

ホームページアドレス <http://www.iiyama.co.jp>

補足

ダウンロード方法および操作方法についても、弊社ホームページに説明がありますので、ご覧ください。

MacintoshまたはUnixについては、ほとんどの場合モニタドライバは必要ありません。詳しくは、コンピュータの取扱説明書を確認したり、コンピュータメーカー等にお問い合わせください。

パネルの角度調節

注意

角度調節の際、液晶パネル面を押さないでください。液晶パネルを破損し、最悪の場合、液晶パネルが割れるおそれがあります。

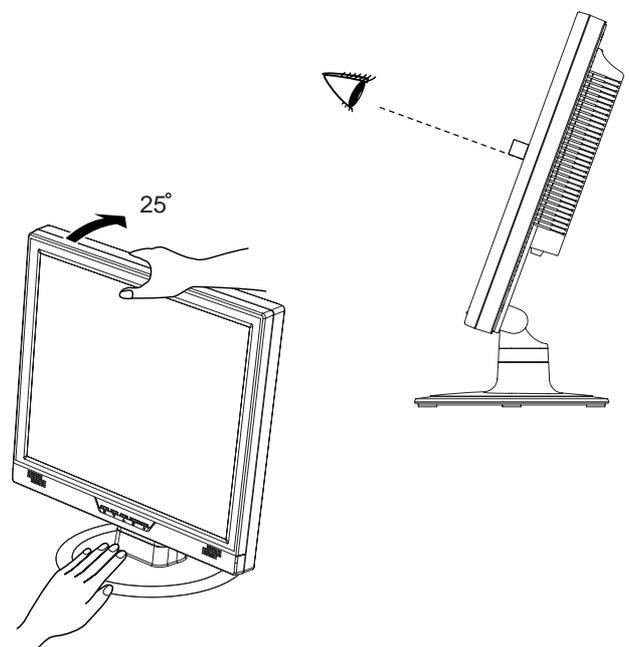
角度調節の際、スタンド可動部のスキ間に指を入れないでください。ケガの原因となることがあります。

液晶モニタは、正面から見る画面が一番きれいに見えます。

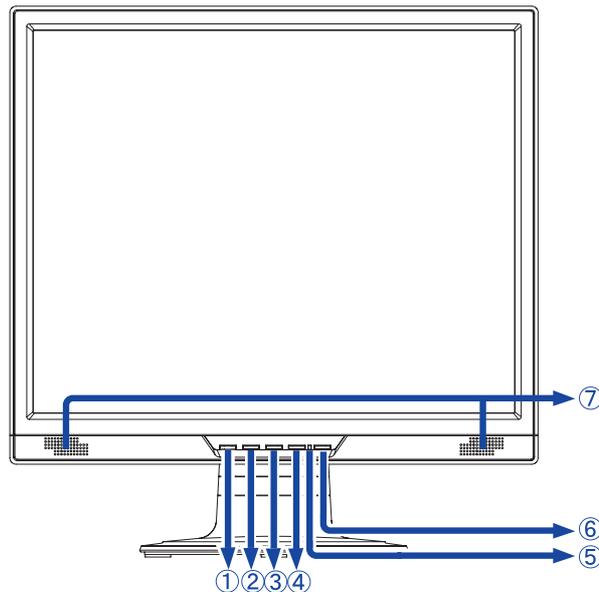
角度調節の際は、倒れないようにスタンド部を必ず押さえてください。

調節範囲は25°(後方0°～25°)です。

画面の角度は10°以内にとすると目の疲れ等なく、最適に使用することができます。傾きを調節して、見やすい位置でご使用ください。



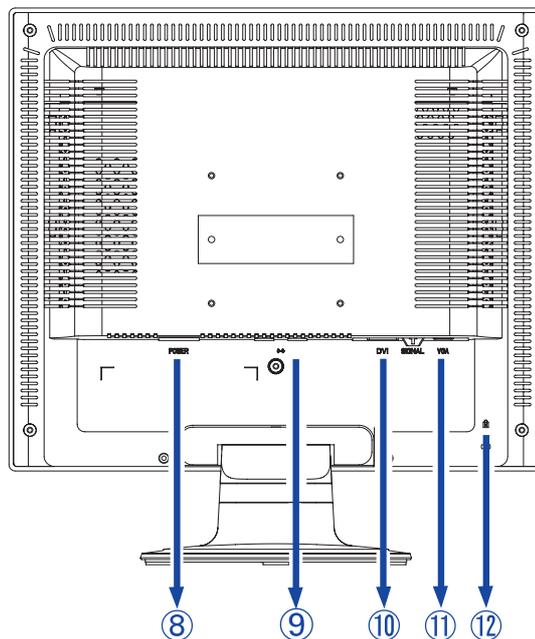
フロントパネルのコントロール



OSDボタン
スクロールアップボタン
電源インジケータ
スピーカー

スクロールダウンボタン
選択/AUTO ボタン
電源ボタン

取付け



電源コード接続コネクタ (AC IN)
DVI-D24ピンコネクタ (DVI)
盗難防止ロック用ホール

音声入力コネクタ
D-SUBミニ15ピンコネクタ(VGA)

補足 盗難防止のため、モニタにロックを取り付けることができます。

操作手順

OSD機能を使用する

1. ボタンでメニュー画面を表示します。
2. または ボタンで調整項目を選択します。
3. ボタンで選択した調整項目の調整画面に入ります。
4. または ボタンで調整をします。
5. 調整終了後、 ボタンを押すと 前ページに戻り、メインメニュー画面表示時に ボタンを押してメニュー画面を閉じます。

メインメニュー



調整

AUTO SET

Auto Adjust

自動調整 (Auto Adjust): 水平位置、垂直位置、微調整（位相）、水平サイズを自動調整します。

Contrast



- : ↓

+ : ↑

① : Exit

② : Brightness

コントラスト (Contrast): コントラストを調整します。

でコントラストを強め、 でコントラストを弱めます。

Brightness



- : ↓

+ : ↑

① : Exit

② : Contrast

輝度 (Brightness): 明るさを調整します。

で画面を明るくし、 で画面を暗くします。

Color Adjust

9300K

6500K

5400K

User Color

- : ↓

+ : ↑

① : Exit

色調整(Color adjust): 色温度を調整します：

9300K、6500K、5400K、ユーザーカラーを選択します。

ボタンで、プリセットされた色温度を決定します。

9300K : 青を増やし、画面を青みがかった白にします。

6500K : 赤を増やし、画面をやや赤みがかった白にします。

5400K : 緑を増やし、画面を赤みがかった白にします。

User Color

R	<input type="text"/>
G	<input type="text"/>
B	<input type="text"/>

- : ↓

+ : ↑

1 : Exit

2 : Select

ユーザーカラー 設定(User Color): 赤 (R)、緑 (G)、青 (B) を調整します。

1. ボタンで調整する色を選択します。
2. または ボタンで、選択された色を調整します。

Information

H.Frequency: 79.99 kHz
V.Frequency: 75.03 Hz
Pixel Clock: 135.04 MHz
Resolution: 1280 x 1024
Model Number: PLE482S
Serial No: 1007130001001

1 : Exit

インフォメーション (Information): コンピュータのグラフィックカードから入ってくる現在の入力信号関連の情報を表示します。

注: 解像度とリフレッシュレートの変更に関する詳細については、グラフィックカードのユーザーガイドをご覧ください。

Image Adjust

 H. /V. Position

 H.Size

 Fine Tune

 Sharpness

1 : Exit

2 : Select

画像調整 (Image Adjust): 水平/垂直位置、水平サイズ、微調整、画質を調整します。

H. Position

Use Up/Down to Adjust

- : ↓

+ : ↑

1 : Exit

2 : V. Position

水平/垂直位置 (H./V.Position): 表示画面の水平/垂直位置を調整します。

水平位置: で画面を右に、 で画面を左に移動します。

垂直位置: で画面を上、 で画面を下に移動します。

H. Size



- : ↓

+ : ↑

1 : Exit

水平サイズ (H.Size): 画面の横幅を調整します。 で画面の横幅を小さく、
 で画面の横幅を大きくします。

Fine Tune



1 : Exit

微調整 (Fine Tune): 画面のにじみとちらつきを調整します。 または ボタンで調整します。

Sharpness



1 : Exit

シャープネス (Sharpness): 1280 x 1024未満の解像度で表示している時の画質を調整します。 または ボタンで調整します。

Setup Menu



Language Select



Resolution Notice



OSD Position



OSD Time Out



Input Select

Analog

1 : Exit

2 : Select

設定メニュー (Setup Menu): 言語、解像度、OSD位置、OSD表示時間、信号入力 (Analog) を設定します。

Language Select

English

Français

Deutsch

Español

Italiano

Suomi

日本語

中文繁體

中文简体

① : Exit

② : Select

言語選択 (Language Select): 言語を選択します。

Resolution Notice

Disable

● Enable

- : ↓

+ : ↑

① : Exit

解像度再設定アナウンス (Resolution Notice): “ Enable ” の場合、“ 1280x1024 ” 以外の解像度を入力している時、電源入力30秒後に“ 1280x1024 ” の解像度に変更を推奨するむねのメッセージが表示されます。“ Disable ” の場合、上記メッセージは表示されません。

OSD Position

H.

V.

- : ↓

+ : ↑

1 : Exit

2 : Select

OSD位置 (OSD Position): ボタンでOSD画面の水平または垂直位置を調整します。

水平 (H.) はOSD画面の水平位置を調整します。

でOSD画面を右に、 でOSD画面を左に調整します。

垂直 (V.) はOSD画面の垂直位置を調整します。

でOSD画面を上、 でOSD画面を下に調整します。

OSD Time Out



15

- : ↓

+ : ↑

1 : Exit

OSDタイムアウト (OSD Time Out): OSD画面の表示時間を設定します。

Setup Menu



Language Select



Resolution Notice



OSD Position



OSD Time Out



Input Select

Analog

1 : Exit

2 : Select

Input 選択(Input Select): 入力信号を切り替えます。(アナログ/デジタル)



Memory Recall

メモリーリコール (Memory Recall): 調整を出荷時設定に戻します。
ボタンで設定します。

Audio Menu



Volume



Mute

off

1 : Exit

2 : Select

Audio メニュー(Audio Menu):

音量(Volume) : 音量を調整します。

消音(Mute) : 消音設定を変更します。

クリーニング

注意事項

本モニタを直射日光が当たる場所や熱源の付近に設置しないでください。画面が反射するのを防止する為、画面が直射日光にあたる方向から避けてください。

通気性がよい場所に設置してください。モニタの上に物を置いたりして通気口を塞がないでください。

モニタから煙や異常音、又は異臭が発生した場合、直ちに電源を切り、ご購入先またはイーヤマサービスセンターにご連絡ください。

液晶パネル表面は傷つきやすいので、硬い物でこすったり、ひっかいたりしないでください。また、手で画面に触れたりすると油汚れの原因になります。

LCDモニターの掃除方法

先ずLCDモニターの電源を切って、電源コードを取り外してください。

画面やケースへ液体を吹き付けたり、塗り付けしないでください。

画面およびケースを糸くずが残らない清潔な柔らかい布で拭いてください。

トラブルシューティング

電源が入らない

- 1.電源ボタン（あるいはスイッチ）がONであることを確認します。
- 2.電源コードが確実にLCDモニターへ接続されていることを確認します。

電源を入れても画面が映らない

- 1.ビデオケーブルが正しくコンピュータの背面にあるビデオ出力ポートへ接続されているのを確認します。
- 2.明るさやコントラストを調整してみてください。
- 3.コンピュータの電源が入っているのを確認します。モニターのLEDがオレンジ色に点灯している場合、電源管理状態に入っているかをチェックしてください。

色が違う

ビデオケーブルが正しく接続されているかをチェックしてください。ケーブルコネクタのピンが外れたり折れているため、接続が正しく行われていない場合があります。

コントロールボタンを押しても効果が無い

一度に一つボタンのみを押すようにしてください。

アフターサービス

保証書 / 保証期間について

本製品の保証書は、本書裏表紙に記載されています。

保証書の「販売店名・お買い上げ日」などの所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

保証期限は本体お買い上げ日より3年間です。ただし、中古販売の製品については3年間の保証は適用されません。

また、液晶パネルおよび光源のバックライトの保証期間は1年間です。ただし、1年間の保証期間内であっても輝度の低下や焼き付き等による経年劣化の場合は、保証の対象になりません。

修理サービス

「故障かなと思ったら」でチェックしても症状が解消されない場合は、お買い上げの販売店またはイーヤマサービスセンターへご連絡ください。

修理や点検のためモニタを輸送される時は、専用の梱包箱、クッションをご使用ください。他の梱包材料を使って輸送した場合、モニタが破損したり、故障の原因となることがあります。なお、この事由による修理は保証期間内であっても有料となります。

お手元に専用の梱包材料がない場合は、送付前に必ずイーヤマサービスセンターまでご連絡ください。

本製品の補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)は、製造終了後5年間保有されています。補修用性能部品の最低保有期間が経過した後でも、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げの販売店またはイーヤマサービスセンターにご相談ください。

リサイクル / 廃棄について

本製品を、ごみ廃棄場で処分される一般のごみといっしょに捨てないでください。

本製品に使用している蛍光管には水銀が含まれていますので、本製品を弊社以外へ廃棄する際は、地方自治体の条例または規則に従ってください。

リサイクル / 廃棄の詳細については弊社ホームページをご覧ください。イーヤマサービスセンターへお問い合わせください。

リサイクル / 廃棄についてのお問い合わせ

イーヤマサービスセンター

TEL 025-521-5920

FAX 025-521-5270

付録

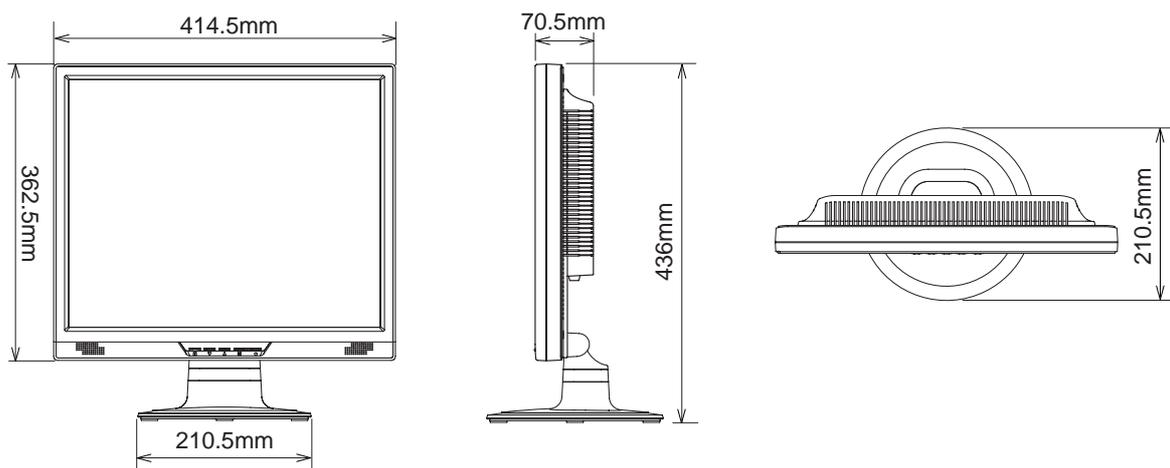
仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。

一般仕様

液晶 パネル	駆動方式	a-Si TFT アクティブマトリックス
	サイズ	対角：48.3cm / 19.0
	画素ピッチ	水平 0.294mm × 垂直 0.294mm
	輝度	250cd/m ² (標準)
	コントラスト比	500 : 1 (標準)
	視野角	左右各70° 上下各65° (標準)
	応答速度	12ms (黒 白 黒)
最大表示色	約1620万色 (6bit+2bit色拡張)	
走査周波数	水平：30～80kHz 垂直：50～75Hz	
ドットクロック	135MHz (最大)	
解像度	1280 × 1024 (最大), 1.3MegaPixels	
信号入力コネクタ	D-SUBミニ15ピンコネクタ, DVI-D24ピンコネクタ	
プラグ&プレイ機能	VESA DDC1/2B™対応	
入力同期信号	セパレート同期： TTL, 正極性 / 負極性	
入力映像信号	アナログ：0.7Vp-p (標準), 75 Ω, 正極性 デジタル：DVI (デジタルビジュアルインターフェイス規格Rev.1.0) 準拠	
音声入力コネクタ	3.5mm ステレオミニジャック	
入力音声信号	0.7Vrms(最大)	
スピーカー	1W × 2(アンプ付きステレオスピーカー)	
最大表示範囲	水平：376.3mm 垂直：301.1mm	
入力電源	AC100～240V 50/60Hz 1.5A	
消費電力	55W (最大) パワーマネージメントモード時：2W (最大)	
外形寸法, 重量	414.5 (幅) × 436 (高) × 210.5 (奥行) mm, 5.6kg	
角度調節範囲	25° (後方0°～25°)	
環境条件	動作時の温度： 5～35 保管時の温度： -20～60 湿度 (-20～50 未満時)： 10～90% (結露なきこと) 湿度 (50～60 時)： 10～90% (結露なきこと)	
適合規格	TCO '99, CE, TÜV-GS / MPR 3 (prEN50279) / ISO 13406-2, FCC-B, UL/C-UL, VCCI-B, CCC	

補足 * オーディオ機器未接続時。

外形寸法図

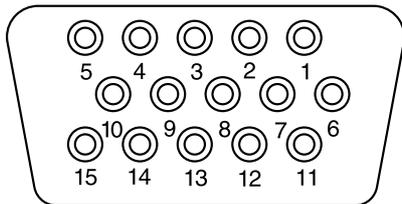


対応信号タイミング

ビデオモード		水平周波数	垂直周数	ドットクロック
VESA	VGA 640 × 480	31.468kHz	59.941Hz	25.175MHz
		37.500kHz	74.997Hz	31.500MHz
	SVGA 800 × 600	35.156kHz	56.249Hz	36.000MHz
		37.878kHz	60.317Hz	40.000MHz
		46.875kHz	75.001Hz	49.500MHz
		48.076kHz	72.186Hz	50.000MHz
	XGA 1024 × 768	48.362kHz	60.002Hz	65.000MHz
		56.474kHz	70.067Hz	75.000MHz
		60.024kHz	75.039Hz	78.750MHz
	SXGA 1280 × 1024	63.979kHz	60.029Hz	108.000MHz
79.974kHz		75.024Hz	135.000MHz	
VGA TEXT	720 × 400	31.468kHz	70.086Hz	28.322MHz
Macintosh	640 × 480	35.000kHz	66.667Hz	30.240MHz
	832 × 624	49.724kHz	74.532Hz	57.280MHz

信号入力コネクタのピン配列

D-SUBミニ15ピンコネクタ

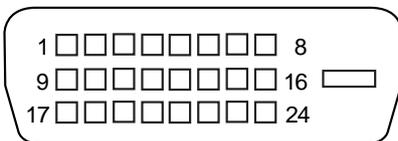


D-SUB

PIN	入力信号	PIN	入力信号
1	赤ビデオ	9	+5V
2	緑ビデオ	10	接地
3	青ビデオ	11	NC
4	NC	12	データライン(SDA)*
5	接地	13	水平同期
6	赤ビデオ接地	14	垂直同期
7	緑ビデオ接地	15	クロックライン(SCL)*
8	青ビデオ接地		

*VESA DDC 規格に準拠

DVI-D 24ピンコネクタ



DVI-D

PIN	入力信号	PIN	入力信号
1	T.M.D.S Data2-	13	
2	T.M.D.S Data2+	14	+5V
3	T.M.D.S Data2接地	15	接地
4		16	Hot Plug Detect
5		17	T.M.D.S Data0-
6	クロックライン(SCL)*	18	T.M.D.S Data0+
7	データライン(SDA)*	19	T.M.D.S Data0接地
8	垂直同期	20	
9	T.M.D.S Data1-	21	
10	T.M.D.S Data1+	22	T.M.D.S Clock接地
11	T.M.D.S Data1接地	23	T.M.D.S Clock+
12		24	T.M.D.S Clock-

*VESA DDC 規格に準拠

保証条件

1. 取扱説明書・本体貼付ラベル等に従った正常な使用状態で故障した場合には、本保証書の記載内容にもとづきイヤマサービスセンターが無料修理します。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合には、お買い上げの販売店またはイヤマサービスセンターに製品と保証書をご提示の上依頼してください。
尚、製品を発送される場合の送料はお客様ご負担となりますのでご了承ください。
3. 本製品の故障やその使用によって生じた直接または間接の損害について、当社はその責任を負わないものとします。
4. 保証期間内でも次のような場合は有料修理となります。
 - (1) 保証書をご提示されないとき。
 - (2) 本保証書の所定事項の未記入、記載内容の書き換えられたもの。
 - (3) 火災・地震・水害・落雷・その他の天変地異、公害や異常電圧による故障または損害。
 - (4) お買い上げ後の輸送、移動時の落下等のお取り扱いが不適当なため生じた故障または損害。
 - (5) 取扱説明書に記載の使用方法や注意に反するお取り扱いによって生じた故障または損害。
5. 本保証書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についての詳細はお買い上げの販売店またはイヤマサービスセンターまでお問い合わせください。